

わたなべ結 NEWS

2021年4月5日

日本共産党 衆院大阪3区国政対策委員長
(住吉、住之江、西成、大正)



医療破壊を許すな

病床削減を推進／75歳以上の医療費が2倍に

ご存知でしょうか。菅政権は、緊急事態宣言の最中に今国会で、公立・公的病院の統廃合、重症者対応のベッドの削減、75歳以上の医療費窓口負担の2倍化という耳を疑うような医療改悪案を強行しようとしています。

公立・公的病院はコロナ感染拡大にも真っ先に対応し、患者を受け入れてきました。コロナ禍で、入院したくてもできずに命を落とすような痛ましい事態が起こってしまったにもかかわらず、その教訓に背を向けて、さらに医療体制を壊す法案の提出は理解できません。

しかもベッド削減や病院統廃合をおこなう医療機関には「給付金」が支払われる仕組みが導入されようとしています。その原資はなんと、「社会保障のため」と増税を強行してきた消費税だということです！市民を欺く法案は撤回し、公的医療の拡充にこそ舵をきるべきです。

75歳以上の医療費窓口負担の2倍化は、高齢者のさらなる受診抑制を生みかねません。政府は現役世代の負担軽減を理由にあげますが、額にすると一人あたり月30円程度です。もっともこの政策を求めている財界団体にモノ言える政治が必要です。

コロナ禍のもと、日本の医療の脆弱さが明らかになり、多くの市民が医療の充実を願っています。コロナ禍の教訓をいかし、政府の医療改悪をこれ以上許さず、壊されてきた地域医療を立て直す世論と運動を地域の中から広げていきましょう。

これまでの「社会保障を削ることが良し」とされる政治のあり方を、今年おこなわれる総選挙をチャンスに大転換し、医療体制の拡充に本気で取り組む政府に変えましょう！

コロナ対策の強化を

①封じ込めのため大規模検査を

- ・社会的検査を高齢者施設だけでなく医療機関にも広げ、検査を頻回・定期的に行い、対象者を利用者にも広げること。
- ・モニタリング検査を、1日2万件を目標に実施し、感染集積地への面的検査にも踏み出すこと。
- ・変異株調査を新規感染者の全例を目指して取り組むこと。
- ・濃厚接触者に限らないより広い接触者への検査、接触者の追跡を専門に行うトレース体制の強化、保健所の体制の抜本的強化をすすめること。

②医療機関への減収補填

③自粛といったいの補償

日本共産党は政府、大阪府に上記の要望をしています。

お困りごとは気軽にご
相談ください。

☎06-6685-1201
mail kizugawa@amber.plala.or.jp
日本共産党 わたなべ結事務所

維新の広域一元 化条例可決を どう考える

住民投票の結果をふみにじる行為

3月24日には府議会で、3月26日には市議会で、「府市広域一元化条例案」が維新、公明などによって可決されました。

この条例では、大阪市が政令市として持っている「都市計画」「成長戦略」（カジノIR誘致や高速道路・鉄道の延伸など）にかかわる権限が大阪府に奪われます。その一方で事業にかかる税金の負担は大阪府から求められるという、住民投票の結果に背くもので、地方自治に逆行するものです。

これまでの2度の住民投票で、市民は大阪市を政令市として残すと結論を出しました。にもかかわらず、市民の決断を踏みにじり、議会での「数」を力に強行するやり方はあまりにも「民主主義ないがしろ」と言わなければなりません。

大阪市存続の意義は大きい 条例は廃止することができる

しかし、あきらめる必要はありません。市民は大阪市を残す選択をしました。大阪市が存続している限り、条例は議会や首長を変えることで廃止することができます。

また、条例の具体化には、一つひとつの案件について府議会・市議会で同意が必要な「規約」をつくる必要があります。この具体化を許さない新たな世論を広げましょう。

大阪をよくするには、維新政治が続けてきた制度いじりではなく、医療・福祉、暮らし・生業をささえる政治に変えることが大事です。



私の好きなカレー / わたなべ結の

「好きなもん」シリーズ 2021/3/20

わたなべ結チャンネル・368 回視聴・1 週間前

YouTube

動画配信始めました

みなさんに、日本共産党のこと、わたなべ結のことを知っていただければと、ユーチューブで動画配信を始めました。気軽にのぞいてみてください。「わたなべ結チャンネル」で検索してください。チャンネル登録もよろしくお願いします。